令和５年度 太陽光発電長寿命化推進セミナー WEB

テーマ:「太陽光発電設備のO＆Mについて学ぼう(基礎編)」

太陽光発電を長期にわたって安全で安定的に継続させるためには、適切な保守点検や維持管理が重要となります。

そこで、長期安定電源として、適正に運用するために必要なO&M※について、基礎知識を習得するためのセミナーを実施します。(※運転管理(Operation)＆保守点検(Maintenance))

☞FIT認定又は50kw以上の太陽光発電設備は、保守点検や維持管理が法令(改正FIT法・電気事業法)で義務付けられてるよ。
☞発電効率の低下だけなく、火災の発生や台風時の倒壊を防ぐためにも、定期的な点検が有効だね。
☞火災や倒壊が発生してしまうと多大な修繕費が発生し、点検費用をはるかに上回るコストがかかっていまうかも!?

主　　催	大分県
対　　象	太陽光発電設備のO＆M(保守点検)事業者 太陽光発電事業の関連事業者
日　　時	令和6年3月11日(月)　13:30～15:00
開催方法	オンライン(Microsoft Teams)
申込方法	https://qr.paps.jp/3mjOt

申込は3／7(木)まで

※申し込み後、登録のメールアドレス宛に、セミナーの接続URLが自動送信されます。

講演 「太陽光発電の保守点検の現状と今後の展望」(80分・質疑応答含む)

講師　一般社団法人 太陽光発電アフターメンテナンス協会　代表理事　伊達 博　氏

太陽光発電システムに関するメンテナンスの適正化に寄与することを目的として、2013年12月に設立。

●略歴
九州大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了
九州大学大学院システム情報科学研究院　博士(工学)
1987年　(株)日立製作所日立研究所　入社
1990年　(財)新世代コンピュータ技術開発機構(通産省大プロ)　出向
1999年　九州大学大学院システム情報科学研究科助教授(客員)
2000年　(株)半導体理工学研究センター研究員(兼務)
2002年　九州大学発ベンチャー　(株)システム・ジェイディー設立 代表取締役
(主要事業:太陽電池アレイテスターの製造・販売半導体の設計・検証・テスト)

●活動実績
・太陽光発電アフターメンテナンス協会代表理事のほか、日本太陽光発電検査技術協会常務理事、九州環境エネルギー産業推進機構企画部会幹事、福岡県、熊本県、長崎県の再エネアドバイザー(O&M担当)等を務める。
・太陽光発電協会(JPEA)の賛助会員として「太陽光発電O&Mガイドライン」や「チェックリスト」の作成メンバーとして参画。

※今後、「O＆M事業者」を大分県ホームページに掲載予定です。
掲載事業者は、本セミナーを受講(要アンケート回答)し、別に定める要件を満たしていることが必須となります。

工業振興課 管理・環境班
TEL 097-506-3265

FIT認定された太陽光発電設備は、
保守点検及び維持管理が
法令※で義務づけられています。

適切に実施していますか？

※再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（2017年4月施行）
（50kW以上は、FIT認定に関わらず「電気事業法」で義務化されています。）
出典：資源エネルギー庁ウェブサイト（http://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/taiyoukouhaikihin.html）

保守点検等を行っていないと

- 指導、助言、改善命令、認定の取消しなどの措置が講じられることがあります。
- 発電効率の低下だけでなく、火災の発生や台風時の倒壊も起こり得ます。

（このような場合、多大な修繕費が発生し、定期的な保守点検や維持管理に要する費用をはるかに上回るコストがかかってしまいます。）

※再エネ特措法に基づく「事業計画策定ガイドライン（太陽光発電）」において、「火災保険や地震保険等への加入」が努力義務になっています。

事業計画策定ガイドライン

太陽光発電設備の適切な保守点検や維持管理を行い、安全で安定的な発電を長期にわたって継続させましょう。

大分県商工観光労働部工業振興課